

SAKAMOTO TIMES 第6号

【9月】

「自立と見守り」

第1学年主任 坂本和生

日	曜	行事予定	給食
1	月	2学期始業式	○
2	火		○
3	水	課題テスト 任命式 【50分日課】	○
4	木		○
5	金	津田中祭特別時間割～11日	○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火		○
10	水	①②文化祭練習	○
11	木	①前日リハーサル	○
12	金	津田中祭文化の部	×
13	土		
14	日		
15	月	敬老の日	
16	火	1年読み聞かせ	○
17	水	資源ゴミ回収	○
18	木	資源ゴミ回収	○
19	金	学校安全の日 1年身体測定(放課後・図書室)	○
20	土		
21	日		
22	月		○
23	火	秋分の日	
24	水		○
25	木		○
26	金	⑤⑥大学連携出前授業	○
27	土		
28	日		
29	月	1年脊椎側湾症検診(希望者)	○
30	火		○
◇10月の予定(変更する場合があります)◇			
1日:中間テスト発表 → 3日:テスト前部活中止～8日			
8日:中間テスト① 社・国・理			
9日:中間テスト② 英・数・水の2～4			
17日:遠足(ネスタリゾート神戸)			

生徒の皆さんへ

中学校に入って、少しずつ「自分のことは自分で決める」場面が増えてきたと思います。

「勉強するかどうか」「誰と過ごすか」「どう行動するか」、すべて、皆さん自身の選択にかかっています。

時には、失敗することもあるでしょう。うまくいかないことに腹が立ったり、誰かのせいにしたくなることもあるかもしれませんが、でも、そんな経験の一つひとつが、自分で考えて動く力、つまり「自立」につながっています。

自立とは、誰にも頼らずに生きることではありません。自分の足で立ちながら、人の支えに感謝し、人のためにも動くこと。

今はまだ、不安なことも多いでしょう。だけど皆さんのまわりには、見守り、支えてくれる大人たちがいます。だからこそ、安心して、そして勇気を出して自分にとっての大切な一歩を踏み出してください。

保護者の方へ

中学1年生という時期は、心と体の両面で大きな変化が訪れる思春期の入り口です。

親から見ると、まだまだ子供。しかし本人たちは、自分なりの世界や価値観を築こうとする時期でもあります。

この時期の生徒たちは、時に反抗的になったり、親や大人たちから距離を取ろうとしたりします。

でもそれは、自立への第一歩。→「自分はどうしたいのか」「自分で決めたい」～という思いが芽生え始めた証なのです。

親としては心配になることもあるでしょう。色々口だししたくなることもあるかと思いますが。

けれど、手を差し伸べるのではなく、心で寄り添い、静かに見守る～それが、この時期におけるもっとも難しく、そして大切な育て方なのかもしれません。(日々の生活の中で、我が子を信じ、そっと見守ることは極めて忍耐のいる苦行といえるかもしれませんが。。)

「見守る」という愛情は、生徒を豊かな成長へ導く方法論のひとつとして、私たち教員も大切にしています。ご家庭と学校が共に生徒たちの背中を支え、自立の芽を育てていけるよう願っております。

